

資料2 「ヒロシマ」をめぐる映像

ここにあげた映画やTVドキュメンタリーは「ヒロシマ」を語るすべてではない。現在市販されており、入手可能であるものや、私の関心から、これまでテレビ放映時などに録画できたものである。当然これまで製作された映像をできるかぎりまとめる作業は必要であろう。しかし、私の関心は、私たちが、いま、普通の暮らしのなかで見たり、接したりすることができる映像の解釈であり、そうした映像の意味である。もちろん、映像資料センターなどで保管されており、資料的な価値がある作品は他にも多いが、それらは、私自身、まだ実際に見ていないし、おそらく見る場合、一度さらっと見ただけで作品を論じるのは難しく、何らかの形で、映像を入手し、詳細に解釈する作業が必要となるだろう。そうした作業は今後の課題としておきたい。

【一般映画・アニメ】

- 『長崎の鐘』大庭秀雄監督／新藤兼人・光畑硯郎・橋田壽賀子脚本（昭和25年・1950年）
- 『原爆の子』新藤兼人監督・脚本（昭和27年・1952年）
- 『カルメン純情す』木下恵介監督・脚本（昭和27年・1952年）
- 『ひろしま』関川秀雄監督／八木保太郎脚本（昭和28年・1953年）日教組作品
- 『ゴジラ』本多猪四郎監督／円谷英二特殊技術（昭和29年・1954年）
- 『怪獣王ゴジラ』（海外版）本多猪四郎・テリー・モース監督（昭和29年・1954年）
- 『ゴジラの逆襲』小田基義監督・円谷英二特技監督（昭和30年・1955年）
- 『生きものの記録』黒澤 明監督（昭和30年・1955年）
- 『空の大怪獣ラドン』本多猪四郎監督／円谷英二特技監督（昭和31年・1956年）
- 『純愛物語』今井 正監督（昭和32年・1957年）
- 『24時間の情事』（ヒロシマわが愛）アラン・レネ監督（昭和34年・1959年）
- 『第五福竜丸』新藤兼人監督・脚本（昭和34年・1959年）
- 『モスラ』本多猪四郎監督（昭和36年・1961年）
- 『世界大戦争』松林宗恵監督・円谷英二特技監督（昭和36年・1961年）
- 『母』新藤兼人監督・脚本（昭和38年・1963年）
- 『博士の異常な愛情』スタンリー・キューブリック監督（昭和38年・1963年）
- 『フランケンシュタイン対地底怪獣バラゴン』本多猪四郎監督・円谷英二特技監督（昭和40年・1965年）
- 『大怪獣ガメラ』湯浅憲明監督（昭和40年・1965年）

『愛と死の記録』蔵原惟繕監督（昭和41年・1966年）
『太陽を盗んだ男』長谷川和彦監督（昭和54年・1979年）
『はだしのゲン』（アニメ）真崎 守監督・中沢啓治原作・脚本（昭和58年・1983年）
『この子を残して』木下恵介監督（昭和58年・1983年）
『黒い雨にうたれて』（劇場未公開作品・アニメ）白土武監督（昭和59年・1984年）
『ゴジラ』（リメイク版）橋本幸治監督（昭和59年・1984年）
『はだしのゲン2』（劇場未公開作品・アニメ）平田敏夫監督・中沢啓治原作（昭和61年・1986年）
『NHK特集 夏服の少女たち ～ヒロシマ・昭和20年8月6日～』（アニメ）
（1988年8月7日放送）、NHKビデオ
『さくら隊散る』新藤兼人監督・脚本（昭和63年・1988年）
『TOMORROW／明日』黒木和雄監督（昭和63年・1988年）
『黒い雨』今村昌平監督（平成1年・1989年）
『夢』黒澤 明監督（平成2年・1990年）
『クロがいた夏』（劇場未公開作品・アニメ）白土武監督・中沢啓治原作・脚本（平成2年・1990年）
『八月の狂詩曲』黒澤 明監督（平成3年・1991年）
『かつ飛ばせドリーマーズ カーブ誕生物語』（アニメ）兼森義則監督・中沢啓治原案（平成6年・1994年）
『ヒロシマに一番電車が走った』（アニメ）、NHKビデオ
『なっちゃんの赤いてぶくろ』（アニメ）東映ビデオ
『はとよ ひろしまの空を』（アニメ）東映ビデオ

【ドキュメンタリー】

『にんげんをかえせ』（橋 祐典監督・1982年、子どもたちに世界に！被爆の記録を贈る会）
『予言』（羽仁 進監督、子どもたちに世界に！被爆の記録を贈る会）
『歴史』（羽仁 進監督、子どもたちに世界に！被爆の記録を贈る会）
『HELL FIRE：劫火—ヒロシマからの旅—』ジャン・ユンカーマン監督（1988年）
『あの日この校舎で——五十年前に被爆したナガサキの記憶——』（岩波映像販売）
『ヒロシマ ナガサキ 核戦争のもたらすもの』（岩波映画制作所）
『生きるための証言 いま、ヒロシマから』（「生きるための証言」製作委員会）
『世界の子らへ ～原爆・1980年、広島の人々は今～』岩波ビデオ

『核兵器のない地球を この街、その海、あの大地』原水爆禁止世界大会実行委員会製作
『見上げれば、ひまわり 一千恵子さんとともに』原水爆禁止日本協議会製作
『もし、この地球を愛するなら』NFBC、カナダ国立映画制作庁

【TVドキュメンタリー】

「ドキュメンタリー 耳鳴り・ある被爆者の20年」(1965年11月28日、NHK放送)
「現代の映像 軒先の閃光 ～甦った爆心の町～」(1967年8月4日、NHK放送)
「ドキュメンタリー 廃船」(1969年3月22日、NHK放送)
「ドキュメンタリー 市民の手で原爆の絵を」(1975年8月6日、NHK放送)
「ドキュメンタリー あの子・原子野に生きた37人」(1980年8月9日、NHK放送)
『NHK特集 これがヒロシマだ ～「原爆の絵」アメリカをゆく～』
(1982年6月7日放送)、NHKビデオ
『NHK特集 核戦争後の地球 ～世界の科学者は予見する～ 《第一部》地球炎上』
(1984年8月5日放送)、NHKビデオ
『NHK特集 核戦争後の地球 ～世界の科学者は予見する～ 《第一部》地球凍結』
(1984年8月6日放送)、NHKビデオ
「NHK特集 爆心地・生と死の記録」(1985年8月6日、放送)
『NHK特集 黒い雨 ～広島・長崎原爆の謎～』
(1986年1月17日放送)、NHKビデオ
「ウィークエンドスペシャル “ヒロシマ” 海峡を越えて ～日韓被爆者の絆～」(2001年8月6日、NHK放送)
「NHKスペシャル 「語り継ぎたい」 広島・長崎を離れて生きる被爆者の苦闘」(2001年8月6日放送)
「にんげんドキュメント 語り継ぐ女優たち ～朗読劇「この子たちの夏」～」(2001年8月28日、NHK放送)
「NHKスペシャル 原爆の絵 ～市民が残すヒロシマの記録～」(2002年8月6日放送)
「NHKスペシャル 紙の碑・被爆老人たちの手記」(1992年8月6日放送)
「NHKスペシャル ヒロシマ・女の肖像 ～写真家・大石芳野と被爆女性～」(1994年8月26日放送)
「NHKプライムテン ワールドドキュメンタリー ネバダ・核実験の砂漠 ～知らされなかった放射能汚染～」(1994年、ABC(アメリカ)製作)
「NHKスペシャル 原爆投下・10秒の衝撃」(1998年8月6日、放送)
「ヒロシマの20世紀」(2000年8月、RCC放送)

「ETV2000 シリーズ太平洋戦争と日本人第6回 伝えたい、されど、、、 ～ヒロシマの語り部たち～」(NHK放送)

「ETV2000 シリーズ太平洋戦争と日本人 井上ひさし 原爆を語るということ」
(2000年12月27日、NHK放送)

「NHK広島開局70周年記念番組 放送はヒロシマをどう伝えてきたか 第一回 被爆と向き合う」

「NHK広島開局70周年記念番組 放送はヒロシマをどう伝えてきたか 第二回 世界の中のヒロシマ」

「ふるさと発ドキュメント ヒロシマが聞こえる ～被爆エノキから生まれた音色～」
(2001年1月12日、NHK放送)

「NHKハイビジョンスペシャル オ願ヒオ知ラセ下サイ ～ヒロシマ「被爆の伝言」～」
(2001年8月5日放送)

「チンチン電車の鐘が鳴る ～ある被爆二世の伝える夏～」(2001年8月6日、RCC放送)

「ETV2001 トリニティの記憶 ～原爆をつくった父へ 娘の問いかけ」(前編/後編)
(2001年8月27・28日、NHK放送)

「ETV2001 原爆を落とした男たち ～56年目の告白～」(2001年8月29日、NHK放送)

「NHKスペシャル 長崎の子・映像の記憶 ～原子雲の下に生きて～」(2002年8月9日放送)

「にんげんドキュメント 語り継ぐ春 ～広島・ある被爆者の遺言～」(2003年4月25日、NHK放送)

「テレビ放送50周年特集 NHKスペシャル 核の時代に生きる人間の記録 ヒロシマ・ナガサキの映像は問いかける」(2003年8月15日放送)